

2025年度 中露の勢力圏構想の行方と日本の対応― 「中央アジア・コーカサス・大洋州・グローバルサウス」の含意

公開シンポジウム

「多極秩序の狭間で: 日本外交と『狭間国家』の生存戦略」



日時：2026年1月19日（月曜） 17:00- 19:00（16:40開場）

場所：明治記念館「孔雀の間」

参加費：無料

申込方法：以下のフォームより入力ください

<https://forms.gle/wCpzdVLbWEYEh8af9>

米中対立、ロシアの動き、グローバルサウスの台頭などが重なり、世界は複雑さを増しています。こうした中で、大国の狭間にある「狭間国家」の動きは、新しい国際秩序を理解する重要な手がかりとなっています。

本シンポジウムは外務省補助金事業として行ってきた研究成果の発表と、成果書『狭間国家の生存戦略』（日本国際フォーラム叢書）刊行を記念して開催するものです。

コーカサス研究の第一人者である廣瀬陽子教授ら専門家が、令和の国際秩序における日本の役割や「架け橋国家」としての可能性を議論します。さらに、ジョージア出身の演奏家ザザ・ゴグアさんとギオルギ・バプアゼさんをお招きし、音楽を通して狭間国家について考える貴重な機会にできればと思います。

<第一部 シンポジウム>

司 会	高畑 洋平	JFIR常務理事・上席研究員
開会挨拶	渡辺 まゆ	JFIR代表理事・理事長
来賓挨拶	調整中	
基調報告	廣瀬 陽子	JFIR上席研究員／慶應義塾大学教授
成果報告	宇山 智彦	北海道大学教授
	遠藤 貢	東京大学教授
	畝川 憲之	近畿大学教授
	ダヴィド・ゴギナシュヴィリ	慶應義塾大学SFC研究所上席所員
	三船 恵美	JFIR上席研究員／駒澤大学教授

自由討論（参加者全員）

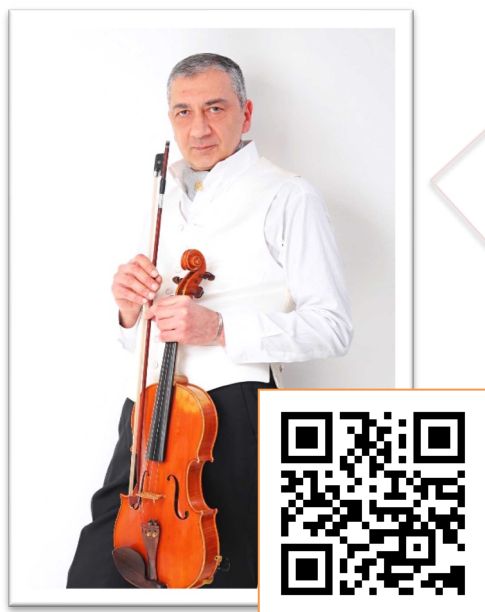
総 括 廣瀬 陽子 JFIR上席研究員／慶應義塾大学教授

<第二部 演奏>

演 奏	ザザ・ゴグア、ギオルギ・バプアゼ	ジョージア出身音楽家
閉会挨拶	高畑 洋平	JFIR常務理事・上席研究員



ジョージア出身演奏家のご紹介



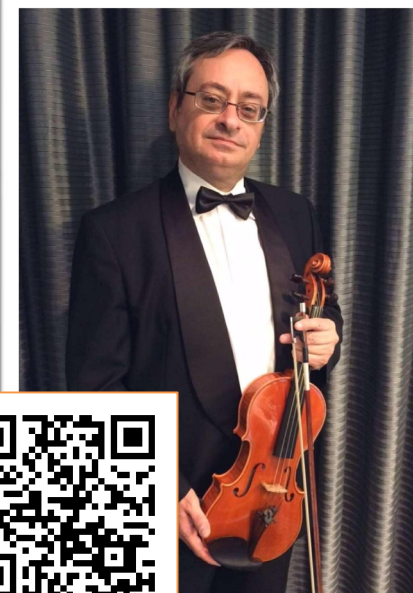
ザザ・ゴグア氏 HP

ザザ・ゴグア Zaza Gogua

ジョージアの首都トビリシ出身のヴィオラ奏者。国立トビリシ音楽院卒業後モスクワ音楽院大学院修了。グルジア国立室内管弦楽団やトビリシ交響楽団、ドイツ・インゴルシュタット室内管弦楽団などで活躍後来日。現在はアンサンブル・神戸及びハーモニアス室内管弦楽団でヴィオラ奏者として演奏をする傍ら、河内長野フィルハーモニーの常任指揮者を務める。

ギオルギ・バブアゼ George Babadze

ジョージアの首都トビリシ出身のヴァイオリニスト・指揮者。国立トビリシ音楽院では弦楽四重奏を学び、大学院では指揮法をディミトリアディ氏に師事。ヨーロッパ各国においてヴァイオリニストとしても指揮者としても活躍してきた。現在は日本で演奏活動だけでなく、教育にも力を注いでいる。2019年に「大阪市市民表彰」、同年秋の叙勲において日本とジョージアの間の友好親善を促進への貢献が評価され「旭日単光章」を受章。



ギオルギ・バブアゼ氏 HP

主催：公益財団法人日本国際フォーラム（JFIR）

「中露の勢力圏構想の行方と日本の対応：『中央アジア・コーカサス・大洋州・グローバルサウス』の含意」研究会

共催：グローバルフォーラム（GFJ）

アクセス：JR中央・総武線【信濃町駅】下車、徒歩3分

地下鉄 銀座線・半蔵門線・大江戸線【青山一丁目駅】下車（2番出口）、徒歩6分

地下鉄 大江戸線【国立競技場駅】下車（A1出口）、徒歩6分

問い合わせ：日本国際フォーラム 研究本部（TEL 03-3584-2190／MAIL jfir@jfir.or.jp）